

文 葛西得男

text by Tokuo Kasai

「保育」の原点

1 980年(昭和55年)に私が役員をしているアップリカ育児研究所より、「育児の神様」といわれた内藤寿七郎先生が生涯に綴られた貴重な28冊の書籍を1冊にまとめた育児のバイブルと称されている『育児の原理』を発表しました。1989年(昭和64年)には出版しましたが、『育児の原理』は現在でも角川書店で文庫本で発刊されており、「アエラ」という雑誌で日本で最も優れた育児書であるとの評価を得ています。

内藤先生の育児の真髄は「まなかい」にあるといわれています。そして子供に自我が芽生える時期、2歳半頃からの育児が長い育児の中でも最も大切であると内藤先生は講演でも書籍でも力説されておられました。今も目に浮かぶようです。「まなかい」というのは親が、大人が、子供に対して自分は親だから、自分は大人だから、という上位に立って対峙するのではなく、子供の目の高さで自分の目を合わせ真剣に語りかけることであり、「まなかい」こそ育児の真髄であると説いておられます。

つまり、内藤先生は2歳半の子供でもマザーシップ保育園の根幹として保育のベースとなっています。アップリカ育児研究所は東京芸術大学と共同で年四回「母学会議」を各地で行っており、そのエリアのお母様のために母親になるための啓蒙活動もしています。これからも「育児の原理」と「母学」を根幹としてマザーシップ保育園を通して子供達の健全な発育のお手伝いが出来ればと願う次第です。

理解し行動できるのだと言われるのです。例えば、自我が芽生える2歳半頃の子供というのは「イヤー」という言葉を使い出します。親の言葉に対して拒否する言葉です。自我が芽生えて来た証であり、これこそ子供が成長しているということであると内藤先生は言います。

何でも親の言う事を素直に聞いていた子供が、ある日突然「イヤー」と言い出します。何を言っても「イヤー」「イヤー」「イヤー」。あんなに素直で可愛かった子供が「何で?!」。親はもうパニックです。そこで親が取る行動、意地になって無理にでも言う事を聞かせようと思いますが、上手くいかないのです。殆どこの時期に親は困ってしまいます。「もう無理!」「もう駄目!」と困ってしまうのです。「言う事を聞かない」という台詞です。そして無理矢理に言う事を聞かせようとするのですが、決して上手くはいかないものなのです。

内藤先生はこの反抗期とも言える時期を喜ぶべきだと言われるのです。「子供は大事に大事に必死でひとつしか

ない自分の「自我」というものを守っている」。そこそが成長の証だと内藤先生は言われるのです。

そんな時どうするのか?そこで登場するのが「まなかい」です。子どもの目の高さに自分の目を合わせ、自分が親だとか大人だとか自分の言う事を聞かせようとするのではなく、真剣に根気よく語りかけること。「こうしようね」「分かるよね」「分かってくれようね」という風に目を見てやさしく語りかけること。

大抵の人が言いますが、「そんな悠長な事で子供が言うことを聞く訳がない!」「そんなのは理屈です!」

一度真剣に「まなかい」を考えてみてください。

「まなかい」は内藤先生の90年にも及ぶ子供を見続けた臨床医学から生まれた言葉なのです。また近年、小林登先生(元東京大学医学部教授)とアップリカ育児研究所と共同で『母学』という育児書出版しましたが、この育児書も高い評価を得ています。「育児の原理」「母学」この2冊の本が



英国王室より贈呈された「子供たちの幸せを願う」紋章



Profile

1950年12月8日大阪に生まれる。1972年、追手門学院大学卒業後、米国ボストンカレッジに留学。1975年に帰国後、アップリカ葛西に入社。営業部、副社長、社長を経て、1996年に社会福祉法人 松稲会 理事長に就任。松稲会は社会福祉法人として高齢者介護施設「アップリカ」と認可保育園マザーシップ保育園を運営している。アップリカ葛西副社長時代に国連UNEP環境計画のスペシャルアドバイザーとして子供たちのために地球環境問題を考えるプロジェクトに参画し、世界の賛同者と世界会議、イベント普及活動などを行いながらその人脈などを広げ現在に至る。

子どもたちに心を、お年寄りに環境を



マザーシップが大切にすること

マザーシップでは、保育園がお子さんの成長にとって最もふさわしい生活の場であるよう、3つのことを大切にします。

1.大切にします

質の高い保育環境の整備とあたたかいかかわり

2.大切にします

保育のパートナーとしての保護者の皆さんとの協働

3.大切にします

地域社会のさまざまな人々との出会いや社会資源の活用



松稲会は、子どもたちとお年寄りにやさしい社会をつくるため、高齢者介護施設アップリカとマザーシップ保育園を運営しています。

社会福祉法人 松稲会

〒558-0021 大阪市住吉区浅香1丁目8番38号
TEL: 06-6696-1177 (代)
FAX: 06-6696-1273
E-MAIL: info@apricare.com http://www.apricare.com

マザーシップ船場保育園

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町2-1-9 船場メディカルビル2F
TEL: 06-4964-0717
FAX: 06-4964-0710

●マザーシップ船場東保育園 ●マザーシップ新梅田保育園
●マザーシップ西宮北口保育園 ●マザーシップ保育園森の家